

- 問1 北海道の農業産出額の構成を示したデータでは、乳用牛や肉用牛といった「畜産」が51.7%を占め、全国平均の31.4%を大きく上回っています。北海道において、このように畜産が盛んになった背景や理由として最も適切な説明はどれですか。 (2017年 埼玉県公立入試 類似)
- 大消費地である東京周辺への輸送距離が非常に短く、新鮮な食肉や牛乳を即座に届けられる有利な立地であったため。
  - 広大な土地と冷涼な気候を活かし、大規模な牧草地を確保して酪農などを行うのに適していたため。
  - 夏の高温多湿な気候を活かし、広大な土地で年に二度、米を収穫する二期作が行われたため。
  - 山がちで複雑な地形を活かし、小規模な土地で果樹栽培と畜産を組み合わせた多角経営を推進したため。
- 問2 日本の地方別統計において、北海道地方は耕地面積が極めて広い一方で、農家数は他地方と比較してそれほど多くありません。この「農家数に対する耕地面積の割合が非常に高い」という状況が、北海道の農業経営にどのような影響を与えているか、正しく説明しているものはどれですか。 (2019年 高知県公立入試 類似)
- 一戸あたりの作業範囲が広いため、生産効率を高める機械化が不可欠となっている
  - 労働力が余っているため、機械を使わずに手作業による丁寧な栽培が行われている
  - 農家一戸あたりの土地が狭すぎるため、複数の農家が共同で土地を管理している
  - 土地の生産性が低いため、農業を営む世帯が減少し、耕作放棄地が最も多くなっている
- 問3 日本の生乳処理量を調査した統計において、バターやチーズの原料となる「加工用生乳」の処理量は北海道が全体の約89.3%と圧倒的であるのに対し、直接飲むための「飲用生乳」の処理量は関東や中京圏などでも高い数値を示しています。このような違いが生じる背景について正しく述べたものはどれですか。 (2022年 埼玉県公立入試 類似)
- 北海道は広大な土地を活かした大規模な酪農が行われているが、遠方の大消費地へ鮮度を保ったまま届ける必要がある飲用牛乳よりも、保存のきく乳製品への加工に重点を置いている。
  - 大都市周辺では牛の飼料となる牧草を自給する広大な牧場を確保しやすいため、鮮度が求められる飲用牛乳の生産を独占している。
  - 加工用生乳は飲用生乳に比べて腐敗しやすいため、消費地から遠く離れた北海道のような冷涼な地域で集中的に加工する必要がある。
  - 飲用牛乳は加工品よりも市場価格が低いため、輸送コストを抑える目的で、すべての都道府県において消費量に見合った自給自足が行われている。
- 問4 北海道二セコ町において、飲食業や宿泊業の就業者割合が主な産業の中で最も高くなっている主な理由として、適切なものを選択しなさい。 (2026年 岩手県公立入試 類似)
- 豊かな森林資源を活かした木材加工業が発達し、それに伴う作業員の長期滞在用宿泊施設が増加しているため。
  - 冬場にスキーなどのウインタースポーツを目的とした外国人観光客が多く宿泊し、観光関連の需要が高まっているため。
  - 夏場に大規模な農作物の収穫体験を行うため、世界中から農家や観光客が集まり宿泊施設を長期間利用するため。
  - 年間を通じて温暖な気候を利用したリゾート開発が進み、国内外からの定住者が急増して一次産業を支えているため。
- 問5 北海道の太平洋沿岸部では、夏季に日照時間が短くなる傾向があります。この要因となる「海霧」が発生するメカニズムについて、正しく述べたものはどれですか。 (2019年 静岡県公立入試 類似)
- 冬の季節風が日本海を渡る際に水蒸気を蓄え、山地を越える際に雪を降らせた後の乾燥した空気が滞留することで発生する。
  - 北東から吹く冷たく湿った風が、高い山脈を越える際に水分を失い、反対側の斜面で高温乾燥した風となって発生する。
  - 南東から吹く暖かく湿った空気が、寒流である親潮（千島海流）の影響を受けた冷たい海面によって冷却されることで発生する。
  - 暖流である日本海流（黒潮）によって温められた空気が、上空の冷たい気団と衝突し、激しい上昇気流が生じることで発生する。
- 問6 明治時代、ロシアなど北方からの脅威に備える警備と、北海道の土地の開拓を同時に行う目的で送り込まれた兵士とその家族を何と呼びますか。 (2016年 群馬県公立入試 類似)
- 開拓使
  - 守護代
  - 屯田兵
  - 防人
- 問7 北海道の地形的特徴について述べた文として、正しいものを次の記述から選びなさい。 (2024年 岡山県公立入試 類似)
- 石狩低地帯の西側には奥羽山脈が連なり、大規模な稲作地帯を形成している。
  - 襟裳岬から北へ向かって飛騨山脈が延びており、道内最高峰の山々が連なっている。
  - 石狩低地帯の東側には日高山脈が南北に走り、地域の地理的境界線となっている。
  - 十勝平野の西端には赤石山脈が位置し、冬の季節風を遮る役割を果たしている。
- 問8 人口約526万人を抱える北海道では、道庁所在地の人口が約197万人に達するなど都市部への人口集中が見られる一方で、広大な土地や気候特性を活かした新たな産業の立地が進んでいます。近年、北海道において企業の膨大な情報を管理するデータセンターの集積が進んでいる理由として、自然環境の面から説明したものとして最も適切なものを選びなさい。 (2021年 東京都公立入試 類似)
- 年間を通じて気温が低くサーバーの冷却コストを抑えられる点や、地震等の影響を受けにくい安定した地盤があるため
  - シラスと呼ばれる厚い火山灰層に覆われた台地が広がっており、大規模な施設の建設に必要な強固な土台が得やすいため
  - 周辺を流れる対馬海流の影響で冬も温暖であり、精密機器の故障の原因となる結露を防ぐのに適しているため
  - 梅雨の影響を受けず夏が乾燥しており、広大な丘陵地帯を太陽光発電の適地として活用しやすいため
- 問9 北海道では、生産された生乳の多くが飲用ではなくバターやチーズといった乳製品の原料（加工用）として利用されています。このように、北海道で加工用としての割合が高い理由として、地理的な背景から説明したものとして最も適切なものはどれですか。 (2025年 岐阜県公立入試 類似)
- 政府の農業政策により、北海道産の生乳はすべて工業製品の原料として扱うことが法律で義務付けられているから。
  - 大規模な牧草地で飼育される乳牛から取れる生乳は、小規模農場のものに比べて水分量が多く、飲用には適さない性質を持っているから。
  - 関東地方などの大消費地から離れているため、生乳のまま輸送するよりも、保存性を高めた製品に加工する方が効率的だから。
  - 北海道の気候は寒冷であり、冬場の生乳生産量が極端に減少するため、年間を通じて供給できる加工品に頼らざるを得ないから。
- 問10 日本の農業の状況を分析した資料において、農業就業者一人あたりの耕地面積が他の地方に比べて極めて大きく、かつ地方別の米の生産量割合において国内最大のシェアを占めている地方はどこですか。 (2016年 愛媛県公立入試 類似)
- 東北地方
  - 北海道
  - 九州地方
  - 近畿地方
- 問11 北海道の酪農において、近年の統計で見られる「飼育戸数が減少しているにもかかわらず、全体の生乳生産量が増加している」という現象の背景にある、生産体制の工夫を説明する用語の組み合わせとして正しいものはどれですか。 (2021年 熊本県公立入試 類似)
- 施設園芸農業と有機栽培
  - 地産地消と手作業の重視
  - 減反政策と多角経営
  - 経営規模の拡大と機械化